

## エ 盤溪地区（上盤溪町内会・盤溪下町内会）【中央区】 取組年度▶ H30 R1

地理・地形	対象災害種	災害脆弱性	地区の範囲	協議主体	取組のテーマ
中山間部	洪水・土砂	がけ地	2つの単位町内会	町内会	避難ルール

### 山間部・集落分散という実情を踏まえた独自の避難ルール策定の取組

集落が分散し、土砂災害、浸水などの危険性の種類や、避難所、避難ルートも地区によって異なる盤溪地区の実情に即した、きめ細やかな避難ルールを定めた地区防災計画の策定に向けて取り組んでいる。

#### (1) 地区の概要

札幌市の西側の山間部に位置し、地区内の集落に人口が点在している。地域は山林が大半を占めており、施設等は北西から南東に走る北海道道 82 号西野真駒内清田線沿いに集中している。

#### (2) 災害リスクと課題

土砂災害警戒情報により避難勧告が発令されたときには、地域内唯一の指定緊急避難場所である盤溪小学校が土砂災害警戒区域にかかっており避難所として開設されない。また、土砂災害警戒区域等が複数存在しているため、避難経路が寸断される恐れがある。浸水想定はないが過去の水害時に鉄砲水が発生した。

#### (3) 取組の概要

がけ地が多く存在するため、5つのブロックに分け避難先を検討し、避難地図を独自に作成した。また、ワークショップでは、地域内にある小学校のほか、サッカークラブ、スキー場、寺、福祉施設、幼稚園、ラベンダー園にも参加してもらい検討を行った。



ワークショップ



#### 🏠 (4) 取組プロセス

日時	回数等	講師等	内容
H30.5	H30 第1回WS	危機管理対策室	演題：災害、そのための備え WS：備蓄品・避難所・防災訓練などの現状や課題
H30.7	H30 第2回WS	三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳 氏	演題：巨大災害に備える WS：自助・共助の役割
H30.10	H30 第3回WS	三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳 氏	演題：自助と継続を考えよう WS：市民の自助を高めるためには
R1.12	R1 第1回WS	三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳 氏	演題：巨大災害に備える WS：疑問・不安なこと・今後追加すべきこと
R2.2	地区防災計画素案作成		

#### 🏠 (5) 会長からのコメント

盤溪は、土砂災害警戒区域に囲まれた散在集落です。

地区防災計画を地域住民が自ら作成することは、住民の意識向上を促し、いざ災害が発生した場合の速やかな避難行動に繋がることから、大変意義があると考えます。



久保田 秀一 会長

#### 🏠 (6) 有識者からのアドバイス・助言など

- ・地域の特徴をしっかりと捉え、弱点がどこで、使えるものは何かとしっかりと探し、いろいろな施設や人を仲間に抱き込んでいる点が大変良い。
- ・課題に目をつむらず、課題を残しながら続けて取り組んでおり、PDCAが回る良い取組になると思う。

(三重大 川口准教授)



## 🏠 (7) 地区防災計画の概要

### 📝 計画の項目

- ・ 計画の必要性
- ・ 盤溪地区の避難計画
- ・ 上盤溪町内会の避難マニュアル
- ・ 盤溪地区避難地図
- ・ 上盤溪町内会詳細図

### ① 盤溪地区の具体的な避難計画

#### 2 盤溪地区の具体的な防災（避難）計画

盤溪地区は、市街化調整区域で、住宅が分散した集落を形成しています。地域の指定緊急避難場所は、盤溪小学校となっていますが、土砂災害警戒区域（急傾斜地）に位置しているため、土砂災害危険時には避難所は開設されません。

また、上盤溪町内会と盤溪下町内会の2つの町内会が存在することから、盤溪地区独自の避難マニュアルを整備することとします。

#### 上盤溪町内会の一時避難所

上盤溪町内会には、除雪路線（7路線）があり、それぞれに代表者がいます。災害が発生した場合の連絡網は、この各路線の代表者を中心に各路線に副代表を決めることとします。

また、危険箇所と地理と対応策（避難経路の確認）を把握することが重要で、（峠の山頂の方は、自宅での避難が良い場合も考えられます。）

施設名	住所
① ばんけいスキー場（ロッジ）	盤溪410番地
② アンフィニの事務所（少年サッカー場）	盤溪433番地3
③ ラベンダー園（梶見峠の佐藤さん宅）	盤溪471番地110

#### 盤溪下町内会の一時避難所

盤溪下町内会は、ばんけいスキー場のロッジに避難するのがベストと考えます。ただし、盤溪小学校では、盤溪川が氾濫し小学校の前の橋が流された場合は、大乗院薬王寺（盤溪峠の山頂）に避難することになっています。

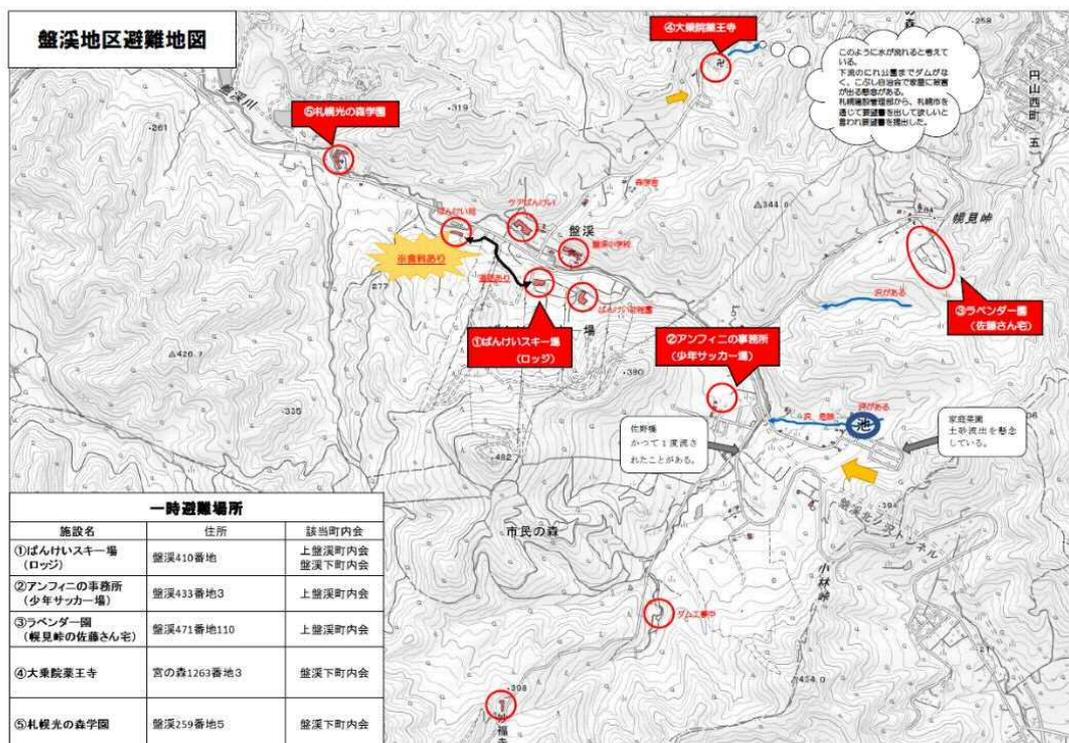
けあばんけいは、施設が堅固であることから、そのまま施設内で救助を待ったほうが良いと考えます。

ばんけい幼稚園は、ばんけいスキー場のロッジに避難するのがベストです。（同じ敷地内であるため）

札幌光の森学園には、停電時に電源を切り替えるシステムが導入されていますので、停電時の情報収集（テレビ）と携帯電話の充電等を行うことができます。

施設名	住所
① ばんけいスキー場（ロッジ）	盤溪410番地
④ 大乗院薬王寺	宮の森1263番地3
⑤ 札幌光の森学園	盤溪259番地5

### ② 盤溪地区避難地図



### ③上盤溪町内会の避難マニュアル

3 上盤溪町内会の避難マニュアル (詳細)

上盤溪町内会は集落が分散していて、災害状況の把握が困難なことから、それぞれの路線 (除雪の7路線) において、自助・共助による避難対応になるざるを得ません。そこで、過去の災害を検証して命を守るための必要措置を考えなければなりません。

現在把握している危険箇所としては、旧盤溪会館路線において、大きな池が出来ていて、土管が塞がっており沢に水が溢れていけない箇所があること、山頂付近から家庭菜園として分譲された場所があり、木が伐採されたことから、72時間で400mmの豪雨が降った場合には、旧盤溪会館路線に土石流が発生する危険性があります。

昭和56年に発生した台風では、梶見峠付近から現在の盤溪会館に向かつて土石流が発生しました。また、盤溪山砂礫帯方面から発生した土石流によって、佐野橋が壊されました。

路線名	代表者	情報収集担当
1 旧盤溪会館路線 (佐藤左官さんまで)	新吾	新吾副会長
2 旧盤溪会館路線 (瀬戸さんから上の路線) 災害時に危険性が高い路線	阿妻	
3 旧盤溪会館路線 過去に土石流が発生	久保田	久保田会長
4 梶見峠路線	中川	秋庭副会長
5 佐々木路線	佐々木	
6 熊谷路線	熊谷	
7 尾形路線	尾形	
7 尾形路線	尾形	

1・2 旧盤溪会館路線の方は早目に、ばんけいスキー場のロッジに避難することが必要です。体力的に無理な方は、アンフィニの事務所 (少年サッカー場) に避難する。

3 旧盤溪会館路線の方は、ばんけいスキー場のロッジに避難する。体力的に無理な方は、アンフィニの事務所 (少年サッカー場) に避難する。

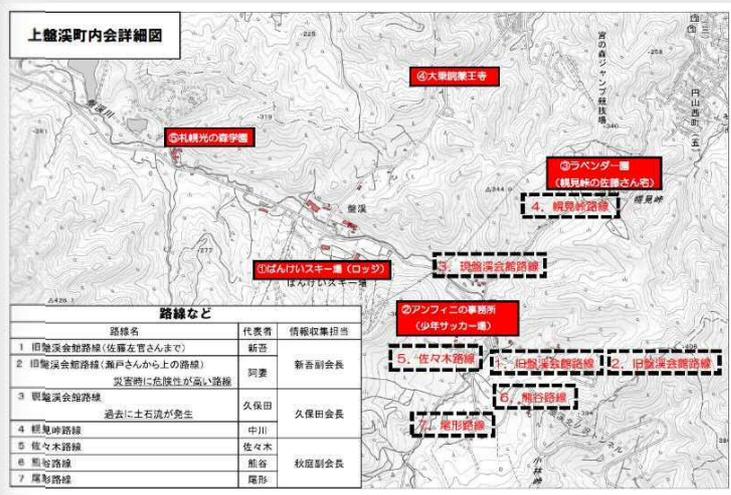
4 梶見峠路線の方は、自宅での避難が妥当です。危険だと判断した場合には、ラベンダー園 (佐藤さん宅) に避難する。

5 佐々木路線の方は、アンフィニの事務所 (少年サッカー場) に避難する。

6 熊谷路線の方は、自宅での避難が妥当です。

7 尾形路線の方は、自宅での避難が妥当です。

### ④上盤溪町内会詳細図



## 計画の説明

### ①盤溪地区の具体的な避難計画

ブロックごとに分け、この地域における避難所を検討し避難計画を作成した。

### ②盤溪地区避難地図

盤溪地区の具体的な避難計画に基づき、この地域における避難場所の地図を作成した。

### ③上盤溪町内会の避難マニュアル

上盤溪町内会では、集落が分散していて災害状況の把握が困難であることから、除雪路線ごとで避難の対応することとした詳細なマニュアルを作成した。

### ④上盤溪町内会詳細図

上盤溪町内会の避難マニュアルに基づき、路線名、代表者、情報収集担当を含めた地図を作成した。

